

第1回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 会議概要

1	委員会名	安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会
2	日時	平成21年5月29日(金) 午後1時30分～2時25分
3	会場	県安曇野庁舎 401会議室
4	出席者	平林市長、奥山委員、三村委員(代)犬飼委員、 久保田幸雄委員、藤倉委員、樋口委員、甕委員、川上委員、松田委員、小平委員、 小林委員、米倉委員、会田委員、田中委員、山本委員、 槇石委員、宮崎委員、曲淵委員、鈴木委員、小岩井委員、 耳塚委員、岡山委員、中村委員(代)山口委員、宮井委員、小山委員、遠藤委員、 安藤委員(代)勝野委員、土肥委員、丸山委員(代)小川委員、久保田栄次委員 市出席者(委員以外)小倉企画政策課長、猿田課長補佐、野口企画員、黒岩主査
5	公開・非公開の別	公開
6	記者	4人
7	傍聴	0人
8	会議概要作成年月日	平成21年6月3日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会 (小倉企画政策課長)
- (2) あいさつ (平林会長)
- (3) 自己紹介
- (4) 議事(事務局)
 - ア 平成20年度事業報告(案)について
 - イ 平成20年度決算(案)について
 - ウ その他
- (5) 閉会 (小倉企画政策課長)

2 協議概要

安曇野市地域公共交通会議設置要項第6条及び安曇野市地域公共交通協議会規約第13条2項に基づき、会長の平林市長が議事進行を行う。

議事録署名人の選任について

平林会長：議事に先立ちまして議事録署名人の選任をさせていただきたい。小林委員さん、樋口委員さんをお願いしたい。

(1) 平成20年度安曇野市地域公共交通協議会事業報告(案)について(事務局から説明)

資料 1 平成20年度事業報告(案)について ※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛

- 1 あづみん(基本ルートを設定した区域運行含)実証運行及び検証
- 2 観光客対応や市外移動の方法について検討
- 3 その他安曇野市地域公共交通総合連携計画推進に関する事業

資料 2 あづみん及び定時定路線実証運行状況 ※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛

- ・20年度の運行日は243日で85,501人、1日の平均利用者は351人。定時定路線は、年間5,338人で、1日の平均利用者は22人。利用者の男女比率は、女性78.1%、男性21.1%である。
- ・3月末現在、利用登録者は、24,476人、利用料金割合では、100円の利用者数が31.9%、300円の利用者数が、67.4%、最高利用回数は年間512回とほぼ毎日利用している人がいる。
- ・年代別利用割合では、60代から80代で67.4%である。

- ・あづみんの1日の最高利用者数は12月25日の454人。利用の傾向として金曜日、年金の支給日の利用が多い。
- ・乗降場所ランキングでは、これまでの報告と大きな変わりなく大型スーパー、日赤病院が1位、2位を占めた。病院、商店、福祉施設、駅、温泉施設等の場所が多い。

資料3 あづみん実証運行及び調査検討業務報告書 ※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛

- ・昨年は協議会兼交通会議を2回、幹事会3回、作業部会5回を開催した。主な協議内容としては、あづみんの実証運行の検証、松本電気鉄道株式会社からの不採算バス路線の見直し協議、観光資源を活かすための地域内移動システムの検討による、中房線及び観光周遊バス運行計画の検討でした。
- ・昨年3回あづみんの利用実態調査を行った。第1回は9月に134人、第2回は12月に208人、第3回は本年2月に144人に調査を行い、運行されて本当に良かった、あるいは不満もあるが概ね良かったという方が第1回では88%、2回では89.4%、3回は83.3%の結果となった。なお、この項目の質問が最終項目のため、お聞きする前に降車されてしまいお聞きできずに不明となった方が、例えば第3回には15人10.4%おり、これらを含めると大変多くの皆様から満足いただく結果となった。
- ・定時定路線についても第1回21人、第2回18人、第3回19人に調査を行った。それぞれ運行されて本当に良かった、概ね良かったが95.3%、94.5%、100%と同様の評価をいただいた。
- ・登録したが一度も使った事が無い未利用者の方に、9月12日から30日までの19日間、100人の方を無作為に抽出し、68人の方から回答いただいた。運行されて本当に良かった、概ね良かったが48.5%で、路線バス・循環バスの方が良かったという人もいた。
- ・一回利用された方も同様に無作為に抽出した100人の方から72人に回答いただき、63.8%の方から良かったとお答えいただいた。これらから使って慣れて頂くほど評価が高まる結果がわかった。
- ・2月から3月に行った福祉バス利用実態調査では利用者の性別割合は、86.7%が女性で、70代40%、80代36.7%、90代20%と高齢者の利用割合が高く、あづみんと比較しても割合が高い。自動車は運転しない方が100%で、原付またはオートバイを運転する人は16.7%であった。福祉バス以外での移動手段が無いと答えた方が93.3%と大多数を占めた。利用頻度は、運行日には毎回、月に2～3回程度という割合が高い値を示し、ほぼ定期的に福祉センターまで通う固定乗客によってこのバスが利用されていることがわかった。
- ・あづみんを利用してJRを利用する方に対象を絞り乗車同乗による聞き取り調査を3月行った。女性9件の聞き取りができ、利用時間帯は昼間の全般に渡っていた。駅利用は南豊科が最も多かった。利用頻度は月1度程度が5件で多く、主な行き先は松本市が最も多かった。あづみん運行以前と比較してJRの利用回数にあまり変化は無いが、駅までの移動は便利になったとお答えいただいた方が7件とあづみん運行を肯定的に捉えていただいていた。自宅から駅に行く際の予約申し込みは当日が多く、駅から自宅に帰る際の申し込みは乗車する列車が特定された時点が最も多く、出先での状況に合わせて予約される傾向があった。全員の方から駅への移動手段として適しているとお答えいただいた。
- ・高速バス利用者アンケートを3月に市内3カ所のバス停で実施し延べ37人からご回答いただいた。性別は男性が59.5%であった。回答者の年代は40代が27%で最も多く次が60代の24.3%であるが、幅広い年代で利用されていた。降車場所は長野市内が56.8%、バス停までの移動手段は自家用車の方が家族運転も含め86.5%で、利用目的は仕事利用が54.1%、利用頻度はほぼ毎日51.4%となっている。あづみんの利用について、利用したことがない、知らなかったが94.6%で、一層周知していく必要がある。
- ・本年度もこれらの調査結果を参考に議論を深めたい。
- ・観光資源を活かした検討の成果として、中房線の高速バス停のあるスイス村までの延長や、観光周遊バスもフリー乗車区間の新設などを行いながら運行区間や日数も増やして運行を開始している。
- ・事業評価（二次評価結果）について3月北陸信越運輸局長から通知をいただいた。概ね適切に実施されていると評価いただいているが、予約電話がつながりにくいという課題がある。対応策として4月の段階で予備用受付端末を2台増設した。また今後短時間勤務のオペレーターさんを増員し研修を行いながらピーク時対応できる体制も整備しながら解決に向けて取り組んでいきたい。

平林会長：20年度の事業報告がありました。質問等あったらご発言をお願いしたい。

無いようです。よろしければ拍手をもって承認いただきたい。(拍手承認)

(2) 平成 20 年度安曇野市地域公共交通協議会決算書 (案) について (事務局から説明)

資料 4 平成 20 年度決算 (案) ※資料内容は下記概要にて説明のため詳細は割愛

- ・ 収入合計 75,447,202 円、支出合計 75,447,202 円で差引は 0 円となっている。
- ・ 収入の部内訳は、安曇野市負担金 53,446,893 円、地域公共交通活性化・再生総合事業補助金 22,000,000 円、預金利息 309 円、収入合計で予算 92,602,000 円に対して決算額 75,447,202 円で 17,154,798 円の減となった。
- ・ 支出の部は、会議費 753,590 円、事務費 111,700 円など運営費で 865,290 円、事業費は実証運行事業費 70,906,912 円、と計画推進事業費等 3,675,000 円の 74,581,912 円。予備費や租税公課は減額した。支出合計 予算 92,602,000 円のところ 75,447,202 円、17,154,798 円の減となった。

平林会長：ここで監査委員を代表し会田委員から監査結果の報告をお願いしたい。

会田委員：安曇野市地域公共交通協議会規約第 32 条の規定により、平成 20 年度事業報告、決算書、金銭出納簿、財産目録の各諸表を監査した結果、正確なることを認める。

平林会長：ただ今監査報告がありました。ご質問ご意見がありましたらご発言をお願いしたい。
無いようです。よろしければ拍手をもって承認いただきたい。(拍手承認)

(3) その他について (事務局から説明)

運転免許証の返納にかかわる県の元気づくり支援金事業の採択について、市民環境部交通防犯係が県へ申請し、4 月に内示を受けた。今後 6 月議会に補正予算を提出し、自主的に免許を返納する人にあづみんの利用回数券 9,000 円分を支給する事業を 7 月頃から 4 月 1 日に遡って実施し、高齢者の事故防止などに努めたい。

豊科スタンプ会「ハートフルカード」のあづみん回数券の利用について、5 月の総会での承認を受けた。事務的な調整を行い 6 月中旬には使えるようになる見込みである。3 万円の買い物をする
と 500 円相当の金券として利用できる。今後も関係機関と連携を深めながら利用促進を図りたい。

今後の予定については、調査委託業者を決定した後、あづみんや観光周遊バスなど各利用実態調査を行いながら作業部会で検討し、必要に応じて幹事会や本会議を開催する中で進めていきたい。

平林会長：3 点説明があったが、運転免許証の返納について藤倉交通課長さんからもご説明願います。

藤倉課長：高齢者の交通事故の問題が社会問題化している。全体の事故件数が減少している中で高齢者の事故件数は高い水準を示している。高齢者の事故を防止することが事故の抑制につながる。県のほうの支援事業により、自主返納が進むことを期待している。

6 月 1 日から 75 歳以上の方の免許証の更新手続きが変わる。講習のほかに交通予備検査を受けなければいけなくなった。認知症など判断力等が基準に満たなければ免許の取り消しになる。委員の皆さんの協力をお願いしたい。

平林会長：その他に何かありましたら発言をお願いしたい。
無いようですので事務局にマイクをお返しします。

事務局：慎重審議ありがとうございました。以上をもって本日の会議を終了いたします。

